

## ビデオ(VHS)・DVDの貸し出し

\*市民の皆様の人権学習会、啓発活動に活用していただけるよう、市民安全部ヒューマンライフグループにおいて、貸し出しいたします。

まず、電話で予約してください。

(TEL : 0794-63-1243)

(FAX : 0794-63-3690)

No	題名	時間	内容
159	R3 DVD 「も・し・か・し・てハラスメント」  (小野市人権啓発員)	20分	ハラスメントをテーマとして取り上げ事例をショートドラマにしたてて解説をしたものです。今回取り上げたハラスメントは、「ブラハラ・テクハラ・セクハラ・コロハラ」と言われる4つのハラスメントです。自分ではいじめや嫌がらせだと認識せず行った言動で他者を不快にさせたり、傷つけてしまう。そのような、日常生活の中で起きていることに気づくための内容としました。
158	R3 DVD 「話せてよかった」  (東映株式会社 教育映像部)	27分	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか
157	R3 DVD 「夕焼け」 ケアラー～誰もが尊重される社会を～  (兵庫県人権啓発協会)	35分	この物語の主人公・瑠依は幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも「家族のことは家族で」するのが当たり前と思い込み気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。小学生時代の担任と出会い自分の本当の気持ちについて見つめなおしていきます。
156	R2 DVD 「かんしん」  (小野市人権啓発員)	15分	小野市でも、近年外国の人々と接する機会が増え、地域でも共に生きる時代になってきています。一方、言語、習慣の違いや偏見から、外国人が増えていることに抵抗を感じている人も少なくありません。「かんしん」は外国人の人権をテーマとして、異なる文化の人々の存在を尊重し、互いを高めあっているような多文化共生社会の実現を目指し、制作した作品です。
155	R2 DVD 「ハンセン病問題を知る」 ～元患者と家族の思い～  (法務省人権擁護虚構)	35分	ハンセン病に関する正しい知識や歴史、そして近年の動向などから、病気に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えます。隔離生活に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族エピソードをアニメーション化した作品です。
154	R2 DVD 「にんげん図鑑」  (風楽創作事務所・フルーク映像株式会社)	30分 23分	部落、在日、ダウン症、ユニークフェイス、認知症、LGBTなど、あらゆる人権課題に対する向き合い方を、大人にも子どもにもわかりやすく提示した作品です。
153	R2 DVD 「今ここにいる人と、しっかり出会う」 —同和問題—  (東映株式会社 教育映像部)	24分	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるという理不尽な差別といえます。本作では同和問題について理解を深め、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品です。
152	R2 DVD 「カンパニユラの夢」  (兵庫県人権啓発協会)	36分	作品のテーマは、「超高齢化社会と引きこもり(8050問題)」です。急速な高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることで認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。

151	R1 DVD 「サラーマット」 ～あなたの言葉で～  (兵庫県人権啓発協会)	36分	「SNS時代における外国人の人権」をテーマに、主人公が新しく職場に来た外国人との対立や交流を通して新たな視点に気づいたり、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子が描かれている。多文化共生社会の実現やSNSを使用する際のマナーについて考える。
150	H30 DVD 「障害のある人と人権」 誰もが住みよい社会を作るために  (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	33分	障害のある人もいない人も誰もが住みよい社会をつくるためには、どうしたらよいのかについて「障害のある人が直面する人権問題」や「心のバリアフリーの実現に向けた取組」などを紹介。
149	H30 DVD 「いじめ 心の声に気づく力」	19分	小学校中学年以上向け。一見ふざけ合いや遊びに見える行為も相手が苦痛に感じている場合がある。加害者・被害者・傍観者の立場に自分を置き換えて考え、いじめの傍観者にならずに解決のために何かしようとする意識を育てる。解決のための議論をする教材としても使える。
148	H30 DVD 「いじめ回復マニュアル」 — 大人たちから君たちへ —	17分	いじめをよく知る大人たちが、自らの体験をもとに、児童、生徒、いじめを抱える子どもたちへ、いじめからの回復の道筋を提言する。大人として「いじめ問題」をどう解決すればよいのかを考える。
147	H30 DVD 「君が、いるから」  (兵庫県人権啓発協会)	33分	母親からの心理的虐待に悩む「奏」が主人公。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず、自己肯定感の低い彼女が、コンビニエンスストアを舞台に虐待されている真凜に関わり、助けることを通して成長する。子どもや若者が社会的に成長し、自立していくために周りの大人がどうすればよいかを考える。
146	H29 DVD 「企業と人権」 職場から作る人権尊重社会  (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	40分	企業で起こりがちな問題に焦点を当て、人権尊重の考え方について研修を行えるようになっている。企業向けに研修会で活用しやすいように、ドラマ、取材、解説を交えた構成になっている。
145	H27 DVD 「すべての人々の幸せを願って」 ～国際的視点から考える人権～  (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	35分	5つの短編によって、人権に対する理解を深め、違いを認め合い尊重し合う社会の実現について考える。 ①国連の人権への取り組み ②女性の人権 ③子どもの人権 ④障がいのある人の人権 ⑤外国人の人権
144	H26 DVD 「秋桜(コスモス)の咲く日」 (北九州市)	34分	広汎性発達障害の1つのアスペルガー症候群である直也。日常生活しにくい場面や優れた能力を発揮する場面などを通して、「目に見えにくい違い」による誤解や偏見、差別につながってしまうことについて、理解を深める。
143	H29 DVD 「あした咲く」  (兵庫県人権啓発協会)	36分	専業主婦と会社員の姉妹。二人の悩みや葛藤、対立を通して、「女性が輝く社会」の実現に向け、すべての人が「自分の花」を咲かせることができる多様性を尊重する社会の実現について考え、深める。
142	H28 DVD 「わたしたちが伝えたい、大切なこと」 —アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品—  (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	31分	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作。日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いている。「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としている。

141	「見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメント」	H29 DVD 29分	職場における性的少数者に対するセクシュアルハラスメントについて考える。 ・性的少数者とは？ ・性的少数者が職場で抱える問題 ・もしも職場でカミングアウトをされたら
140	「外国人と人権」 違いを認め、共に生きる (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H28 DVD 33分	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考える。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学ぶ。
139	考えよう！ハラスメントvol.2 「LGBTを知ろう」	H28 DVD 20分	LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように具体的に取り組んでいけばよいのかを、イラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んでわかりやすく解説。
138	「風の匂い」 (兵庫県人権啓発協会)	H28 DVD 34分	知的障害がある歩と、子どものころは「大切な友だち」だった正人。同じ職場で働く2人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材。
137	人権アーカイブ・シリーズ 「ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～」 「家族で考えるハンセン病」 (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H27 DVD 76分	ハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめている。
136	「ここから歩き始める」 (兵庫県人権啓発協会)	H27 DVD 34分	認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ。
135	はじめての金融ガイド 金融取引の基礎知識 ～トラブルの予防のために～ (金融庁)	H20 DVD 33分	1.振り込め詐欺の被害にあわないために 2.偽造・盗難キャッシュカードの被害にあわないために 3.多重債務に陥らないために注意すべき事項について ドラマ仕立てで解説している。
134	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～ (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H26 DVD 46分	全国中学生人権作文コンテストでは、次世代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えている。このDVDでは入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介している。
133	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ 「めぐみ」 (政府 拉致問題対策本部)	H20 DVD 25分	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメ
132	「あなたがあなたらしく生きるために」 性的マイノリティと人権 (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H26 DVD 30分	性・セクシュアリティはとても多様だが、それをしっかり理解している人はわずかである。そのため、性的マイノリティの多くが生きづらさを感じている。誰もがありのままを受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいる。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要がある。

131	「あなたに伝えたいこと」 (兵庫県人権啓発協会)	H26 DVD	36分	ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題をはじめとする全ての差別をなくしていくために重要であることを、若い女性の結婚に関する物語を題材にして、明るい希望とともに伝えます。
130	人権アーカイブ・シリーズ 「同和問題～過去からの証言、未来への提言～」 「同和問題 未来に向けて」 (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H26 DVD	80分	我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめている。
129	「ハンセン病とは？」 ハンセン病を正しく理解するために (兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課)	DVD	30分	ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発のために兵庫県健康福祉部が制作したDVD
128	「ヒーロー」 (兵庫県人権啓発協会)	H25 DVD	34分	社会からの孤立、孤独死などが大きな社会問題になる中、地域社会と縁を持たなかったサラリーマンが、あるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会い、自分の家族との絆も深めていく。地域のつながりの大切さを実感する内容。
127	人権ミニトーク 心の窓5 「ヒロシマ原爆被爆」～真実を語り継ぐ～ (加東市教育委員会人権教育課) 寄贈	H25 DVD	30分	一瞬のうちに14万人もの命を奪った原爆投下。この悲惨な出来事を風化させないため、加東市在住の河井さんが被爆体験を語る。
126	「空飛ぶ五線譜」(アニメ) (小野市市民福祉部社会福祉課障害福祉係)	H21 DVD	12分	サッカー大好きな少年が出会った耳が聴こえにくい女の子。クラス別合奏大会に参加したい彼女のために考えついたみんなが驚く少年のアイデアとは？
125	「ある日突然最愛の娘を奪われて」 ～犯罪がその後にもたらすもの～ (内閣府犯罪被害者等施策推進室)	H20 DVD	41分	大切な家族を殺害され、耐えきれないほど苦しんだ家族をさらに傷つけたのは、事件後における周囲の人々の様々な態度や反応だった。あなたは、気づかないうちに誰かを傷つけていませんか？犯罪被害者の立場から人権を考える内容。
124	「本当の友達」 (大胡小学校映画クラブ) 寄贈	H19 DVD	50分	「いじめをなくそう」その思いから、群馬県前橋市の子どもがシナリオを考え、セリフを考え、子どもが撮影し、子どもがつくった、いじめをなくすための映画。
123	「もっと素敵にハーモニー」 (滋賀県立男女共同参画センター)	H16 DVD	30分	仕事と家庭生活、地域との調和のとれた生き方について描いている。同時に、日々の暮らしの中で当たり前と見過ごしていることの中に性別を理由とした不合理な取り扱いや固定的な見方があることに気づくことができる内容。
122	「ほんとの空」 (兵庫県人権啓発協会)	H24 DVD	36分	誤解や偏見に気づき、人と深く向き合うこと、他人の気持ちを我がこととして思うこと。原発事故による風評被害をはじめ、すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の生活につなげていこうという趣旨で制作された作品。

121	「桃香の自由帳」 (兵庫県人権啓発協会)	H23 DVD	36分	このドラマは、どの地域でも起こりうる出来事に焦点を当てている。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかける。
120	「クリームパン」 (兵庫県人権啓発協会)	H22 DVD	36分	児童虐待など社会問題になっている事件を通して、いのちの重み・尊さを感じながら、互いに支え合い生きていくこと、身近な人に関心を持ち、お互いを尊重した支えあいをする大切さに、改めて気づかせてくれる。
119	「ボクとガク」 あの夏のものがたり (北九州市)	H22 DVD	42分	二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権と地域ではぐくむ人権文化に目を向けた作品。また、私たちが決して忘れてはならないもの、次代に受け継ぐものとして「戦争と平和」についても描かれている。
118	「デートDV」 — 相手を尊重する関係をつくる —	H18 DVD	30分	DVは親密な関係の相手に対してふるうからだと心への暴力。これは大人だけの問題ではない。若者たちがDVをする人にもされる人にもならないために「デートDV」とは何か、なぜ起きるのかを理解し、それが自分の問題だと気づくことや学ぶことが必要である。
117	「見上げた青い空」 (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H19 DVD	34分	いじめによる幼なじみの良太の自殺がもとで、転校した岸田裕也。しかし、転校した中学でもいじめはあった。いじめられ、学校に入れず校門に立ちつくすクラスメート…。インターネットや携帯電話を使うなど陰湿で巧妙かつ残酷ないじめとその本質を直視し、この問題について考える。
116	「同和問題と人権」 — あなたはどう考えますか — (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H20 DVD	28分	日本固有の人権問題で、国民的課題でもある同和問題に焦点をあて、ある家族の話し合いを通じて、国や地方公共団体等による施策やいまだに残る差別事象、偏見などをわかりやすく紹介した作品。(指導者・担当者向け)
115	「あの空の向こうに」 (兵庫県人権啓発協会)	H21 DVD	38分	ケータイやインターネットがある日突然凶器に変わってしまう。しかし、文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも人。本当の意味での心のつながりとはどういうことかを見つめ直し、お互いの思いを交わし、心の寄り添うコミュニケーションの大切さや家族の役割を考える。
114	「ケータイトラブル」 — 子どもを犯罪者・被害者にさせない —	H21 DVD, VHS	25分	ケータイによる犯罪・事件が増えている。子どもがケータイの世界へ無防備、無自覚にふれてしまう、乱用するといった背景には、家庭、学校における人間関係、親子関係のあり方が指摘されている。ケータイの中に犯罪や事件があるのではなく、それを使う人の心が問題である。
113	「ネットの暴力を許さない」	H21 VHS	19分	中学生の間で流行しているプロフ。それがいじめの温床となっている。規制や監視をしても子どもたちに自覚がなければ、ネットによる暴力を止めることはできない。子どもたちへの問いかけを通し、人を傷つけることの愚かさへの気づきを持たせ、人権意識を育てる。
112	「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ⑧ 「ぬくもりを感じて」 — 刺激的ナイスガイ 中倉茂樹 —	H18 VHS	30分	「部落差別をなくすことに、人生を賭けたい」と語る中倉茂樹さんの生き方を描いた作品。中倉さんは、「人権学習、同和学習はいじめをなくすだけでなく、皆が幸せになるための勉強だよ」と講演会で訴える。また、自分を支えてくれる人たちや仲間「人間って暖かいなあ」と感謝したと振り返る。

111	「親愛なる、あなたへ」 (兵庫県人権啓発協会)	H20 VHS 字幕入り	37分	このドラマでは、一人の人間の気づきと再生が中心に描かれている。一人一人の「気づき」こそが、互いに支え合う力が低下した地域の「再生」につながる。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかける作品。
110	「老いを生きる」 — 今日も何処かで高齢者のサインが！— 字幕入り	H18 VHS	35分	明日はわが身かも知れない認知症の問題と、不幸にも家族から受ける虐待。誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対する優しさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品。
109	「今日もよか天気たい」 字幕入り	H19 VHS	35分	視覚障がいのある一人の女性“京子”を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていくストーリー。ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や行動によって、自分の中の偏見や差別に気づく。さらに、支えられる京子自身も人の役に立つことで生き甲斐を見つけていく。
108	「泣いて笑って涙して ポコアポコ」	H8 VHS	53分	大阪府松原市に住む、車椅子の福井千佳子さんが、障がいを持ちながら、空き缶を拾ってそれをお金に換え、そのお金で、お年寄りに車椅子を5年間に100台も贈った、心温まる実話。千佳子さんの日常生活を通して、苦難の努力と、お母さんの力強い生き方を、人々の温かい励ましをまじえて描き、明るい社会をめざす感動的な作品。
107	「パワー・ハラスメント」 そのときあなたは・・・	H20 DVD	26分	パワー・ハラスメントの被害を受けた人たちへのインタビューと、事例に基づくドラマで構成され、パワー・ハラスメントの想像を超えた影響を見る人に突きつける。職場にとって何が重要かを考える手がかりになることだろう。働く人すべてを対象に丁寧に解説している。
106	「パワー・ハラスメントと人権」 — 見直そう、職場と家庭の人間関係 —	H20 VHS	43分	経済構造の変化によりストレスや葛藤を抱え、余裕のない職場。人々の余裕のなさや傷ついた感情は、職場や家庭で自分より弱いと認定した誰かに対する攻撃へと、そのはけ口を求める。職場において行われる精神的な暴力であるパワハラを、家族との関係やその影響も含めて、被害者と加害者双方の視点から描いている。
105	「こころに咲く花」 字幕入り (兵庫県人権啓発協会)	H19 VHS	35分	子どものいじめや職場でのいじめ・パワハラの実状を知り、多数を占める傍観者、観衆たちが一步を踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかける。内面に潜む「いじめの心」を克服し、互いに認め合い、支え合って「誰もが幸せに生きる」社会づくりを考える。
104	差別意識の解消に向けて<第1巻> 「人権のまちづくり」	H19 VHS	29分	今日の部落差別は、「同和地区の土地に対する忌避意識」が根底にある。地区内外の人たちが協働して差別意識の解消に向けて「人権のまちづくり」に取り組んでいる大阪府内の2つの現場から、差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝える。
103	「桃色のクレヨン」(アニメ) 字幕入り (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H18 VHS	28分	知的障害のいとこのふれあいを通じて、「かけがいのない命の大切さ」を感じ、「思いやりの心」を大事にすることの大切さに気づいていく主人公の姿が描かれている。大人と子どもと一緒に見て楽しめ、ほろっときて、それでいて心が温まる作品。
102	いじめを考えるシリーズ 「いじめを克服する」	H19 VHS	15分	いじめの問題を親との対話や教師への告発、友人への相談、その外様々なやり方でクリアしてきたもといじめられっ子たちが登場します。いじめ克服の方策について、勇気を持って立ち向かう第一歩について訴える。

101	「私」のない私 ～同調と傍観～	H15 VHS	30分	差別の現実直面した時、傍観する、差別する側に同調してしまう日本の社会的文化背景を克服するため、自分自身の気持ちや考えを率直に表現し、差別をなくすための第一歩を踏み出すための教材。
100	「部落の歴史」(明治～現代) ～近代化が存続させた差別～	H19 VHS	26分	貧困や学歴などを理由とする明治以降の差別意識と、中世からの古い差別意識が複雑に重なり合って現代の部落差別は形成されています。また、格差社会の中、新たな部落差別意識も形成されています。このような起源から現代まで、映像を通して、新しい部落史像を共有する教材。
99	「いじめはゼッタイわるい！」(アニメ)	H19 VHS	12分	小学校(低～中学年向け)のいじめ防止アニメーション。はっきりといじめを嫌悪し、いじめに加担せず、ためらうことなく先生や親に知らせる・・・そうした行動をとるための力を、幼い時期の子どもに植え付ける教材。
98	ハラスメントと人権 「防ごう！パワー・ハラスメント」 字幕入り	H18 VHS	20分	ミニドラマとナレーションにより、どういった言動がパワハラに該当するのか。どうすれば防げるのかを考える。ドラマ部分を解説とともに振り返り、どこに問題があったのかを検証していく構成。
97	身体拘束をしない そこからケアをはじめめる 第3巻「いきいきと暮らす介護の方法と工夫」 ～環境の整備とチームケアによる取り組み～	H14 VHS	26分	身体拘束をしなくても安全が確保され、利用者一人一人がその人らしく人間として尊厳を失わずに、生き活きと暮らせるケアの在り方について、全国の介護保険適用施設の事例を紹介する実践的教材。
96	「夕映えのみち」 字幕入り (兵庫県人権啓発協会)	H18 VHS	38分	ちょっとした妬み心からインターネットを使って友人の人権を侵した高校1年生の娘に動揺する専業主婦の妻とその夫。娘は友人の家に謝りに行くがきちんと謝れない。自分にも責任があると感じた妻は学校とPTAに相談した結果、学校・地域ぐるみで「インターネット社会と人権」について特別学習会が開かれる。
95	「外からみたわたしたち」 ～地球規模で違いを認め合い、そしてふれあいを～	H15 VHS	27分	日本に住んでいる外国の人たちは、私たちが「常識」としている日本の文化や習慣、そして制度に、戸惑いや違和感を抱いたり、まら、自分たちに向けられる視線に差別性を感じ取っているかもしれない。
94	「ぬくもりの彩」 字幕入り	H15 VHS	36分	突然、障害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれが同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品である。
93	「部落の歴史」(中世～江戸時代) ～差別の源流を探る～ 字幕入り	H19 VHS	26分	小・中学校の教科書から「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載が、ほとんど消えてしまった('01'05年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためである。
92	部落史学習ビデオⅢ 「被差別部落の成り立ちに学ぶ」	H5 VHS	45分	①被差別部落はいかに出来たか、②さまざまな被差別部落の成り立ち、③被差別民衆が担った芸能文化、の三つのテーマについてそれぞれ15分程度に要約し、被差別部落の歴史的形成過程をわかりやすく理解できるように工夫した。

91	H18 VHS 「人権感覚のアンテナって？」 ～人権侵害、差別がみえてくる～	39分	ドラマ部：問題提起—毎日仕事に追われている深津理絵が人権啓発担当者として配属された。「差別がいけないなんて当たり前」と思っていた深津はさまざまな人権侵害・差別が起きていることに驚く。 解説部：ドラマを再現し意識や行動を考える。
90	H14 VHS 身体拘束をしない そこからケアをはじめめる 第2巻「身体拘束がなくなる介護の方法と工夫」 ～組織的な取り組みと基本的ケアの徹底～	26分	・身体拘束を廃止している施設での点描 ・身体拘束廃止に向けての組織的な取り組みの事例 ・基本的ケアの徹底、その方法と工夫 起さる・食べる・排泄する・清潔にする・アクティビティの5つの基本的ケアに先駆的に取り組む施設の事例から ・認知症の人への接し方
89	H16 VHS 「仮免許 練習中」 字幕入り	30分	息子の交通事故をきっかけに自尊感情を失った親子が、自らの「誇り」を取り戻す過程を描いている。その過程の中で、考え、悩み、変容していく姿を通して人権意識を高め、視聴者の生きる活力を呼び起こす。
88	H17 VHS 「大地の母 きくゑ」	32分	差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いてきたきくゑ—！生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会で役立つこととなり、80歳すぎた今でも、きくゑの活動はとどまることを知らない。
87	H17 VHS 「未来への道標」～ハンセン病とは～  (法務省人権擁護局)	30分	かつて「らい病」と呼ばれ、恐れられていたハンセン病。人権侵害の歴史、なくならない偏見・差別。その根底にあるものは何なのか。元民放テレビ記者の藪本雅子が、各地にある療養所や社会に出て暮らすハンセン回復者らを訪ね、その真相に迫るとともに、今後の「人権に在り方」について問いかける。
86	H17 VHS 「未来への虹」(アニメ) ～ぼくのおじさんは、ハンセン病～ 字幕入り (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	30分	茨城県からおじさんのところに遊びに来ていた正太(小学6年)は、いとこの香奈(小学1年)と「国立療養所多磨全生園」に住む平沢安治さんの家へおつかいを頼まれた。初めて訪れる「全生園」がどのようなところかわからない正太は、平沢さんの容姿に驚き、戸惑いを覚える。
85	H18 VHS 「元気に再チャレンジ！」 ～キラキラしている女性たち～  (内閣府男女共同参画局)	25分	家事と育児に明け暮れる日々を送っていた主婦・山田裕美(36)は、再び社会で働きたいと思い立ち、早速、求職活動を始めるも不採用。30歳代後半でいまだ子育て中、社会との関わりを絶って久しい裕美に再就職の道は険しかった。実際に再チャレンジを果たした女性達が登場し実体験を語りながら力強いエールを送る。
84	H17 VHS 「私の好きなまち」  字幕入り (兵庫県人権啓発協会)	35分	亡き父が起こした不動産業を継ぐため、故郷の兵庫へUターンした主人公と、東京生まれ東京育ちの妻、小学校5年生の娘を取り巻くドラマ。今日的な視点で同和問題を取り上げながら、身近な問題(いじめ・嫁姑問題)や誰もがもっている差別意識を扱い、「それぞれの立場を認め合い、共生していく」「相手を思いやる」「夢をもつ」ことの大切さについて訴えている。
83	VHS ドキュメンタリービデオ 「Challenged」 ～チャレンジド・挑戦という運命をもたらされた人たち～	67分	障害者の就労支援団体・プロップステーション(代表：竹中ナミ)と出会い、チャレンジドたちは、人としての誇りと尊厳を取り戻している。デジタル情報技術(パソコンやインターネット)が人間の生きることを助け、能力を高める可能性を拓き、何よりも誇りを取り戻すことが可能であることを証明した。



82	「ハンセン病 今を生きる」 H17 VHS 字幕入り	49分	ハンセン病元患者、石田雅男さんは10歳の時「らい病」と診断されて親と引き離され、人目をさけて愛生園に運ばれ社会から排除されて60年が経った……
81	「人権入門」 日常から考える10のヒント H17 VHS 字幕入り	23分	「人権」という言葉を聞いて、自分とは関係ない話、人ごとと考える人は多いのではないか。しかし、生活を人権的な視点で見直してみると、実は日常のいろいろな場面で私たちは人権問題と深く関わりを持っていることに気づく。チェックポイントを積み重ね、日常の中の人権に切り込んでいく。
80	「旅立ちの日に」(アニメ) H17 VHS 字幕入り	40分	「障害を持っていても私は美和の親。親としての責任をちゃんと果たしたい。」娘の旅立ちの日、披露宴の最後に親として挨拶がしたい。靖江は磁気ボードに自分の願いを書く。
79	「人権の扉を開く」 気づいていますか？身近な人権 H16 VHS 字幕入り	25分	主人公は共働きの夫婦。お互い対等な関係でありたいというのが二人のモットー。二人の身近に起こる様々な事例を通して人権について考えていく。
78	「今でも部落差別はあるのですか？」 マイナスイメージの刷り込み H17 VHS 字幕入り	38分	絵本作家の卵・秋江に子供用の同和問題絵本製作の依頼が無い込む。同和問題をよく知らないのになぜか気乗りしないし、避けたいと思ってしまった。次第に、偏見(差別意識)が知らず知らずに再生産される社会のしくみと自分の課題に気づいていく。
77	「壁のないまち」 (兵庫県人権啓発協会) H16 VHS 字幕入り	35分	ユニバーサル社会の実現を目指して。私たちのまわりでは、障害のある人への就職差別があったり、アパートの入居を断られるなど、障害のある人の自立と社会参加が阻まれることもある。「障害のある人も地域の中で普通の暮らしができる社会」というノーマライゼーションの理念の実現は、今なお完全とはいえない。
76	「プレゼント」(アニメ) (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター) H15 VHS 字幕入り	17分	小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものでなかった。それから綾香に対するいじめが始まる……
75	「セツちゃん」 H16 VHS	34分	ある日、加奈子が「セツちゃん」という転校生について話し出した。それはいじめに合っている自分自身のことだった。作り話を続ける加奈子と家族のあり方を問う。
74	「心のどこかに」 H6 VHS	30分	自分の心に差別心……が。人間は、この世に同じように生をうけながら、生まれたところや、住んでいるところによって差別を受ける。そんな不合理なことがあっていいのでしょうか……？
73	「人として生きる」— 長島の一年 — H17 VHS	21分	ハンセン病に対する89年間の隔離政策は、人々の生き方をどう変えたのか、療養所で暮らす人々の生活を一年にわたって撮影した記録です。
72	「渋染一揆 — 明日に架ける虹 —」(アニメ) H13 VHS 字幕入り	30分	江戸時代の身分制の中で、服装などにまで、加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ちあがった歴史的事実である渋染一揆をアニメーション化したもの。

71	「ハンセン病 剥奪された人権」 字幕入り	H14 VHS	25分	ハンセン病は、プロミンの開発によって完治する。2001年の「隔離政策違憲」判決を受け、一見解決したかのようだが、依然根強い差別の実態が存在し、偏見がぬぐい切れていない現状を問いかける。
70	「もう一度あの浜辺へ」 字幕入り (兵庫県人権啓発協会)	H15 VHS	38分	高齢者を疎外し、虐待する行為はどこにでも起こりうる人権問題。高齢者介護に疲れる配偶者と娘の事件を通して、高齢者の介護のあり方を考える。
69	「生きています 15歳」 字幕入り	H14 VHS	22分	未熟児網膜症により幼くて失明した美由紀さんと母との心の交流を描く。
68	「えせ同和行為排除のために」 字幕入り (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H12 VHS	30分	同和問題とは何か。国民一人ひとりが正しい認識をもつことの大切さを説く。えせ同和行為とは、同和問題を口実に企業・行政機関などに、不当な利益・義務のないことを求める行為であり、問題解決を妨げる大きな原因であることを示唆する。
67	「この街で暮したい」 — 外国人の人権を考える — 字幕入り (法務省人権擁護局・人権教育啓発推進センター)	H14 VHS	32分	言葉・宗教・文化や価値観のちがいによっていろいろな人権問題が生じている。外国人への偏見を描きながら、外国人の人権について考えていくドラマである。
66	「同級生」	H14 VHS	30分	同和問題解決のため家庭教育の大切さに気づき、和太鼓クラブを素材として考えていくドラマである。
65	「元気をありがとう」	H14 VHS	53分	差別や偏見が増幅されるような現実を見つめ、人の痛みがわかる心を持ち、連帯感をも育てていく社会でありたいことを語っている。
64	「一人ひとりの心は今！」	H15 VHS	34分	エセ同和行為に対し、毅然とした態度で拒否し、また、障害者問題に取り組んでいく若い社員たちの姿を描く。
63	風と大地と梨の木と 第3章「老いのいきさき」 字幕入り	H11 VHS	54分	男にも女にも一度きりの人生 共に生きるとは— 豊かな老いとは— を物語り、示唆しているドラマである。 —女性・高齢者問題—
62	「新しい風」 字幕入り (兵庫県人権啓発協会)	H14 VHS	30分	家庭内における子どもへの虐待や配偶者間の暴力(DV)は重大な人権問題として放置できない社会の問題になっている。これらの問題を解決するため課題提供し、家庭における一人ひとりの人権の大切さを描いているドラマである。

< ※ 番号61以前の16mmフィルムの貸し出しは行っておりません。 >